

胎内市観光振興ビジョン（第1次、平成21年3月策定） の成果と課題

【総括】

成果

- ・まちあるきやトレッキングなどの体験型プログラムが造成、ボランティアガイドが活用されるとともに、ホームページやSNS、冊子、パンフレット等での情報発信が進んだ。
- ・胎内リゾート主要施設を運営する「株胎内リゾート」が設立、誘客活動や受入体制は大きく変化した。
- ・米粉を軸とした食に関する取組が進展し、「米粉発祥の地 たいない」のイメージが定着した。

課題

- ・各種取組みの地域内、地域外との連携は進んでいない。
- ・観光関連データの収集・分析が進んでいない（このため、観光による経済効果もはっきりせず、市民が効果を把握・実感しづらい）
- ・観光まちづくりを推進する体制はまだ弱い（各種組織を連携させるに至っていない）。
- ・観光まちづくりへの市民参加が進んでいない（ビジョンが浸透しておらず、市民がなにをすべきかがわかりにくい）

【各戦略および重点的に推進するプロジェクトの成果と課題】

<観光まちづくり分野>

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略1	地域の魅力を再発見し、 保全・活用しよう ー地域内の各エリアの特性を活かして、観光地としての魅力を高めましょうー	1.観光対象となる資源の発掘・提案	<p>○中条が「會津八一」ゆかりの地であることのPRなどを推進。</p> <p>○「トコトコ おさんぽ たいない」「米粉グルメ食べ歩きマップ」等により、まちなかを廻って楽しむための情報発信を展開。</p> <p>▲地域のお祭りや伝統行事などの整理、対外的情報発信はそれほど進んでいない。</p> <p>▲胎内市の歴史を活用した取り組みは行っているが、他地域との連携にまでは至っていない。</p>
		2.まちへ訪れるきっかけ、仕掛けづくり	
		3.多様な集落の歴史・文化の再発見	
		4.史跡の保全、整備と他地域との連携	

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略2	豊かな自然を保全し、 魅力を向上しよう ー自然の特性に応じた保全、活用方策を検討しましょうー	5.生態系に配慮した自然の保全、持続的な活用	<p>○生態系を損なうような利用のされ方はなされていない。</p> <p>○飯豊連峰や楡形山脈のルートやマップ、交通手段宿泊情報などを観光協会ホームページで情報発信。</p> <p>▲自然環境の保全に関する自主ルール等は特段策定されていない。</p> <p>▲ライブな情報について(本日の天気など)、積極的には発信されていない。</p>
		6.案内・各種サービス機能の強化	

<観光まちづくり分野>

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略3	歴史的環境を保全・活用しよう ー中条駅周辺をはじめとして、歩いて楽しい町並みを創りましょうー	7.中条駅周辺の地域資源の発掘とその活用	○まちあるきについて、ツアー造成やボランティアガイドの活用などが推進。 ○市外在住者も利用できる、予約制のりあい自動車「のれんす号」を運行。 ▲中条駅周辺の地域資源を活かすような景観整備はほぼ未着手
		8.まち歩きを意識した空間の整備	
		9.観光資源を結ぶ公共交通の整備	

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略4	胎内リゾートを再生しよう ーやすらぎと癒しを与える地域の滞在拠点にしましょうー	10.リゾートとしての空間の魅力向上	○ロイヤル胎内パークホテル、胎内スキー場、奥胎内ヒュッテ、みゆき庵を運営する「(株)胎内リゾート」を設立し、施設連携しながら運営を推進。 ○「胎内リゾート魅力向上委員会」を設置し、域内連携の取り組みを強化。 ○「星の観覧会(胎内自然天文館)」「胎内高原ビール園製造見学」など、周辺施設との連携した体験型の商品づくりが推進。 ▲胎内リゾートエリアの空間整備についてはほぼ未着手。 ▲胎内リゾート以外の市内各所・団体と連携した体験型の商品づくりは今後の課題。
		11.周辺施設との連携による着地型旅行商品づくり	
		12.全体をマネジメントする組織づくり	

<産業まちづくり分野>

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略5	「食の胎内ブランド」を強化し、消費・販売の機会を拡大しよう ー優れた特産品の品質向上を図るとともに、より深く味わう機会を増やしましょうー	13.地場食材、素材を活かした加工品、料理の開発	○「胎内高原ワイン」や「胎内地ビール」等について、ラベル変更や品質向上等によりブランド力を向上。 ○「道の駅 たいない」などでの地場産品の販売機会を増加。 ○東京や新潟市内など、地域外で開催される物産展等にも随時参加。 ▲胎内黒豚など、一部の地場産品については供給が減少。 ▲胎内ブランドの認証の仕組みづくりには至っていない。
		14.地域の安心食材としての「胎内ブランド」の認証	
		15.地域内外での消費、販売機会の向上	

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略6	中条エリアの「食」の魅力を発信しよう ーお菓子屋や料亭、農作物など身近な食資源を積極的に活用しましょうー	16.地域の料亭、お菓子屋の紹介	○「トコトコ おさんぽ たいない」「米粉グルメ食べ歩きマップ」等により、まちなかを廻って楽しむための情報発信を展開。 ▲料亭やお菓子屋さんに強くクローズアップした情報発信は行われていない。 ▲中条駅周辺(本町周辺)に農作物の常設販売所は設置されていない。
		17.中条エリア農作物の常設販売所の設置	

<産業まちづくり分野>

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略7	「胎内型ツーリズム」を育成しよう ー自然、歴史、科学をテーマとした体験プログラムをつくりましょうー	18.豊かな自然や歴史、文化を活かした観光ルートの開発	○「胎内型ツーリズム推進協議会301人会」により、体験プログラムづくり等の取り組みを推進。 ○乙宝寺、羽黒十一面観音などの歴史、文化を活用したツアーを造成。 ○「胎内アウレツ館」などを活用し、スポーツ合宿等の誘致を推進。 ▲各種プログラムの更なる認知度向上は今後の課題。
		19.あらゆる世代が楽しめる体験交流プログラムづくり	
		20.スポーツ大会・合宿等の誘致	

<人材・仕組みづくり分野>

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略8	観光まちづくり人材を育成しよう ー市民・民間企業・行政の協働で観光振興事業を推進しましょうー	21.観光まちづくり人材の育成プログラムづくり	○市内の各種コース案内が可能な観光ボランティアガイドが育成。 ○(株)胎内リゾートにおいて、外部人材の導入によるスキルアップを実施。 ▲観光まちづくり人材はある程度存在するが、育成プログラムの整備には至っていない。 ▲市民への「おもてなし」の意識啓発等についてはほぼ未着手。
		22.観光関連事業者のスキルアップ	
		23.おもてなしの心の醸成	

<人材・仕組みづくり分野>

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略 9	効果的・効率的に情報を発信しよう ー観光関連データを収集・分析して、マーケットを定めた情報発信を行いましょうー	24.基礎的な観光統計の整備とマーケティング力の強化	○観光協会やその他市内企業により、ホームページや各種SNSでの情報発信は推進。 ○観光協会ホームページでイベントカレンダーが提供されるなど、観光情報について一定の共有がなされている。 ▲観光客の満足度や消費額等のデータ把握はなされていない。 ▲情報発信のターゲットがあまり明確にはなっていない(検討するためのデータが不足)。
		25.ターゲットを明確にした情報発信の強化	
		26.観光情報の共有・提供体制の強化	

	基本戦略	具体的施策	成果と課題
戦略 10	観光まちづくり組織を設立しよう ー観光政策を確実に実行していくための体制を確立しましょうー	27.住民組織、各種団体との協働システム・ネットワークの構築	○観光協会が社団法人化。 ▲新たな観光まちづくり組織は設立されておらず、観光協会も、各種組織の間を取り持つ・ネットワーク化する組織にまでは至っていない。 ▲新発田や村上と、目に見える形での広域連携は進んでいない。
		28.広域連携の推進	

<重点的に推進するプロジェクト>

	プロジェクト	取組みの方向性	成果と課題
I	「花」ーチューリップをはじめ各種の花を活用したおもてなし風景づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の花の名所の魅力向上 ・年間を通じた「花」の活用(カレンダーやマップ作成) ・観光客の集まる場所への花植え ・花の管理への市民参画 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○「チューリップフェスティバル」は継続して実施されており、胎内市を代表するイベントとして定着。 ○樽ヶ橋河川公園やロイヤル胎内パークホテル前などでの花植えの実施(花植えボランティア等の市民参画) ▲花の年間活用(カレンダー、マップづくり)などには至っていない。
II	「食」ー「我が国の米粉発祥地」としての米粉商品や料理の開発プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の米粉商品のレベルアップ ・新たな料理の開発 ・米粉の普及・PR活動 ・「米粉発祥地PRイベント」の開催 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○PRイベント「米粉フェスタ」がスタートするとともに、米粉の新商品「胎内べえべえ」が開発され、“米粉発祥の地 たいない”が浸透。 ○市内小中学校を巻き込んだ「私のべえべえグランプリ」の開催や、米粉に関する料理教室なども定期的に開催。 ▲市外における認知度向上や、米粉を活用している他地域との連携強化などには至っていない。
III	「自然」ー櫛形山脈をはじめとした自然を満喫できるプログラムづくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートマップや案内板の整備 ・各種体験プログラムの開発・情報発信 ・イベントの開催 ・着地型旅行商品づくり など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ルートマップが整備され、トレッキング／ウォーキングプログラムも実施。 ○「櫛形ウインドトレイル」などのイベントも開催。 ○コースを案内できるボランティアガイドも整備。 ▲認知度や集客力の更なる向上は今後の課題。